

**令和3年度  
学校推薦型選抜  
健康栄養学科  
小論文**

**問題・出題の意図・採点評価基準**

令和2年11月22日

高知県立大学

問 図1は、1日2回以上、主食・主菜・副菜の3つを組み合わせた食事を摂る頻度を示しています。また、表1は、1日2回以上、主食・主菜・副菜の3つを組み合わせた食事を摂る頻度が週5日以下と回答した方のうち、主食・主菜・副菜の3つを組み合わせたことがバランスのよい食事になることを知っている割合を示しています。図や表を読み取って、問1～問3に答えてください。

(配点 100 点)

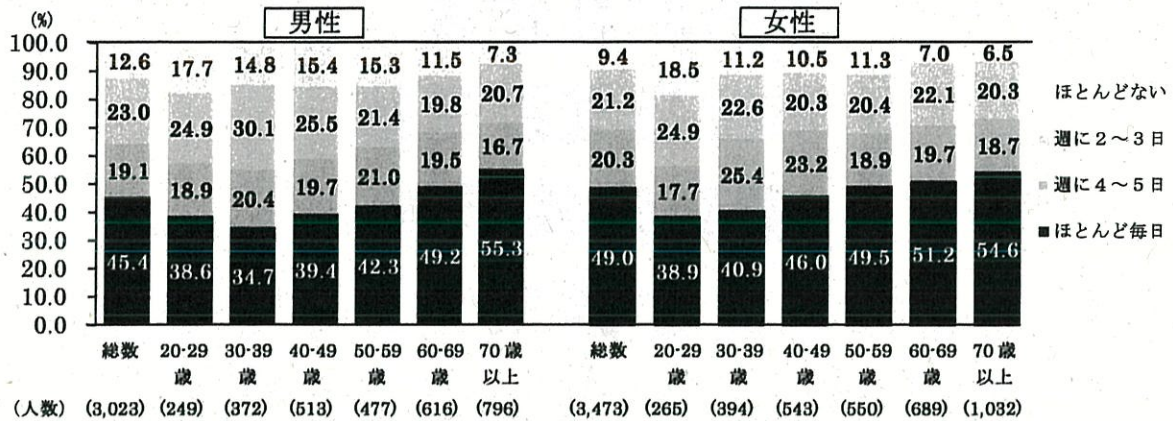


図1 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度

<出典：厚生労働省 平成30年国民健康・栄養調査結果、2020 ([https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450171&tstat=000001041744&cycle=7&tclass1=000001139646&cycle\\_facet=tclass1](https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450171&tstat=000001041744&cycle=7&tclass1=000001139646&cycle_facet=tclass1), 2020.8.12 アクセス)より作成> 出題の都合上、一部を省略・改変した。

表1 主食・主菜・副菜の3つを組み合わせたことがバランスのよい食事になることを知っている割合

	性別	項目	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
男性		総数	1,651	88.7	153	89.5	243	89.3	311	88.7	275	93.5	313	85.3	356	87.4
		週に4-5日	577	92.5	47	100.0	76	94.7	101	96.0	100	95.0	120	90.0	133	86.5
		週に2-3日	694	89.3	62	90.3	112	92.0	131	86.3	102	93.1	122	88.5	165	87.9
		ほとんどない	380	81.8	44	77.3	55	76.4	79	83.5	73	91.8	71	71.8	58	87.9
女性		総数	1,771	95.5	162	95.7	233	98.3	293	96.6	278	97.5	336	96.7	469	91.5
		週に4-5日	706	97.3	47	95.7	100	98.0	126	98.4	104	99.0	136	98.5	193	94.8
		週に2-3日	738	94.3	66	95.5	89	98.9	110	95.5	112	97.3	152	96.7	209	88.0
		ほとんどない	327	94.5	49	95.9	44	97.7	57	94.7	62	95.2	48	91.7	67	92.5

<出典：厚生労働省 平成30年国民健康・栄養調査結果の概要、2020 ([https://h-crisis.niph.go.jp/wp-content/uploads/2020/01/20200115104433\\_content\\_10900000\\_000584138.pdf](https://h-crisis.niph.go.jp/wp-content/uploads/2020/01/20200115104433_content_10900000_000584138.pdf), 2020.8.12 アクセス)> 出題の都合上、一部を省略・改変した。

問1 1日2回以上、主食・主菜・副菜の3つを組み合わせた食事を摂る頻度は、年齢や性別によってどのような特徴がありますか。200字以内で述べなさい。(30点)

問2 1日2回以上、主食・主菜・副菜の3つを組み合わせた食事を摂る頻度と主食・主菜・副菜の3つを組み合わせたことがバランスのよい食事になるという知識との関連について200字以内で述べなさい。(30点)

問3 1日2回以上、主食・主菜・副菜の3つを組み合わせた食事を摂る頻度を増やすためには、どのようなことを行えば良いと思いますか。問2で述べたことを踏まえ、管理栄養士となったつもりで、その理由も含めて200字以内で述べなさい。(40点)

<出題の意図>

グラフや表を正確に読み取るとは、健康栄養学科で学ぶ上で重要な能力である。この設問では、今までの知識・教養をもとに論理的な思考によって、適切に判断できる力をみる。

<採点評価基準>

調査結果から読み取れることを尋ねている。問1は、図1で男女や年齢による特徴について論理的な思考、記述ができているか、問2は、表1で示される知識があることとその実践度が関連する部分と関連しない部分を読み取り、論理的な思考、記述ができているか、問3は、問1、問2の解答を基に判断して、根拠に基づく対策を考えられているかを評価する。